

「平成 21 年度地域貢献推進経費中間報告会 & 第 3 回産学官連携戦略展開事業セミナー」 を開催しました

12月2日（水）、本学ミッドプラザ（高松市常盤町商店街内）において「知と地域の共生、そして再生 ―香川大学地域連携オープンキャンパス」と題し、香川大学と地域のより密接な連携を築くためのあるべき道を探るイベントとして開催しました。

第1部の「平成21年度地域貢献推進経費中間報告会」では、蓄積された研究成果をもとに地域の文化、産業、医療等の振興に寄与することを目的に学内公募で選ばれた「地域貢献を推進するための研究課題」についての中間報告を行いました。平成21年度に採択されたもののうち8件の研究課題の概要と進捗状況が報告され、それぞれの演題で活発な質疑応答がありました。

第2部では、「第3回産学官連携戦略展開事業セミナー」を行いました。本学 社会連携・知的財産センターは、平成20年7月に文部科学省産学官連携戦略展開事業の採択を受け、文理融合型研究推進支援体制や地域に根ざした実効性のある産学官連携支援体制の構築を目指しています。

セミナーの特別講演では、本学危機管理研究センターの白木渡センター長が地域防災への取り組み経験に基づいた地域社会の連携への思いと提言を披露しました。また、「地域に支えられ、頼られる大学を目指して」と題して、本学教員4名に高松市ボランティア・市民活動センターの丸山輝裕氏が加わり、地域連携の在り方についてのパネルディスカッションも行いました。

組織横断的な繋がり場を創出し新しい学内外の連携を生み出すことを目的とする、学内連携ネットコミュニティACTのキックオフを兼ねた今回の2部構成による催しが盛況に終わりました。



会場の様子



第2部のパネルディスカッション